

カレー商品の歴史

明治38年	道頓堀の大和屋・今村商店(現・ハチ食品(株)) カレー粉の製造を開始
明治39年	東京・神田の「一貫堂」が、初の即席カレールウ「カレーライスのタネ」を発売
明治43年	田中屋(現・杉本商店)が蕎麦屋向けの「地球印軽便カレー粉」を商標登録
大正3年	日本橋の岡本商店が練状で丸缶のカレー粉を発売
大正4年	大阪市北区鳴尾町で広木屋商店(メタルカレーの前身) カレー粉の製造を開始
大正12年	合名会社日賀志屋(現・アスビー食品(株)) 創業
大正12年	甘利商店(現・甘利香辛食品(株)) 創業「花印カレー粉」
大正12年	ノーブル商会「文化カレー」即席カレールウを開発実用新案として登録
大正15年	大正2年大阪・松屋町筋に薬種化学原料店、浦上商店を開業、(現・ハウス食品(株)) 稲田商店を吸収し、カレー事業を承継「ホームカレー」
昭和2年	双葉屋商店(現・(株) ロークス本舗) 即席カレールウ「双葉屋ロークス」
昭和2年	新宿・中村屋インドカレー発売
昭和3年	「ホームカレー」を「ハウスカレー」に改称(現・ハウス食品(株))
昭和8年	美津和ソース原料合資会社「M&Cナイト純カレー粉」
昭和5年頃	甲味食品興行所設立
昭和5年	合名会社日賀志屋熟成カレー粉「ヒドリカレー」を発売1円10銭、 高級品は「サン・バード」(「C&Bカレー粉」がポンド缶で1円50銭) 笹原商店「リス印C&Sカレー粉」(現・大崎屋創始者出身) 佐藤食品工業所(現・水牛食品(株)) 創業「昭和カレー」 金鶏商会(現・平和食品工業(株)) 「森永カレー」「キンケイカレー」
昭和6年	ブルドックソース食品(株)「ブルドック印純良カレー粉」
昭和7年	飯野商会(現・(株) ケー・アイ・エス) 設立香辛料の原料販売を開始 ノーブル商会ルウを最中に詰めた「カレーモナーカ」発売実用新案登録 山田商会即席カレールウ「OBカレー」発売製法特許を登録
昭和10年	昭和香辛料(株)(現・ムアー食品(株)) 「ムアーカレー」 昭和10年旭食品商会(現・(株) ナイル商会)を開業「エビスカレー粉」製造
昭和12年	多務良商店(現・(株)多務良屋) 設立「太陽鷲印純カレー粉」発売
昭和13年	高橋商店(現・テーオー食品(株)) 「太陽鷲(サンイグル)印カレー粉」
昭和15年	「ムアー即席カレー粉」を発売
昭和17年	横浜交易食品(株) 設立「コーエキ印純カレー」の製造を開始
昭和20年	オリエンタル設立「オリエンタル即席カレー」発売5皿分の即席カレーを35円 (アンパン1個が5円の時代)
昭和20年	東京調味合名会社が設立カレー粉の生産を開始 「ナイト印」の三津和食品工業(株) 再建 「主婦の友カレー」の朝日食品(株) 再建
昭和22年	合名会社浦上靖介商店が本拠を大阪・布施市御厨に移し業況を拡大 荏原食品設立「キンケイミルクカレー」 安間香辛料商店を開業香辛料原料を輸入
昭和23年	甘利商店が甘利香辛食品(株)に改組して、C&A、C&B、花ベル、を商標登録
昭和23年	東京香辛料(株)(原料商)を設立 黒川与兵衛商店再建「月美人印のカレー粉」の製造を再開
昭和24年	(株)山城屋(現・日本調味食品(株))を設立「山城屋のカレー粉」を発売 浦上靖介の、浦上糧食工業所が社名を「(株)ハウスカレー浦上商店」に改称 (株)日賀志屋が社名をアスビー食品(株)に改称 アスビー食品(株)「赤缶カレー粉」を発売
昭和25年	ベル製菓を、ベル食品に改称 板状の固形即席カレー「ベルカレールウ」を発売 東京調味テーオー食品に改称 (株)弘木屋商店は商品名のメタルカレーからとって、メタル食品(株)に改称 キンケイから発売された固形ルー「キンケイミルクカレー」石鹼に似た形状
昭和27年	横浜交易食品(株)は、社名を交易食品(株)に改称 旭食品(株)が(株)ナイル商会を設立「インデラカレー」
昭和28年	広島市天満町で墨田耕三が「スミダ」を開業固形即席カレールウを製造 明治製菓は「明治キンケイ」ブランドの「ギンザカレー」でカレー事業を開始

- 昭和29年 エスビー本格的な固形即席カレー「エスビーカレー」発売
- 昭和30年 日本糧食(株)設立
- 昭和31年 (株)金鶏商会と(株)キンケイを統合して平和食品工業(株)に改称
- 昭和34年 エスビー最中に入った「モナカカレー」発売 1個5皿分で35円
- 昭和35年 ハウス食品「ハウス印度カレー」発売
江崎グリコ「グリコワンタッチカレー」発売カレー業界に参入
- 昭和36年 笹原商店の後継大崎屋商店(現・(株)大崎屋)設立「寶印カレー粉」
- 昭和37年 キンケイ食品工業(株)と明治製菓(株)の共同ブランド「明治キンケイクイックカレー」
エスビー食品「ダブルカレー」発売
テーオー食品「トマトカレー」発売
ベル食品化学工業「ベルカレールーフ」発売
メタル食品「メタル即席カレー」発売
エスビー食品「エスビーハイカレー」発売
キンケイ食品工業(株)と明治製菓(株)の共同ブランド
「明治キンケイお子さまカレー」を発売
ベル食品化学工業「ベル印度カレー」
- 昭和38年 ハウス「ハウスバーモントカレー」発売 CMの効果もあり大ヒット
エスビー食品「特製エスビーカレー」発売「インド人もびっくり!」と言うCMで話題
- 昭和40年 交易食品 カレールウの製造を開始**
- 昭和41年 エスビー食品「ゴールドンカレー」発売 スパイシーで香り高い本格派のカレーで
値段も他の製品の倍だったが、大ヒット
- 昭和43年 ハウス食品 さわやかな辛さがキャッチフレーズの「ジャワカレー」発売
大塚食品世界初のレトルトカレー「ボンカレー」発売
- 昭和46年 ハウス食品 レトルトカレー「ククレカレー」発売
- 昭和53年 CoCo壱番屋の1号店が、名古屋でオープン
テーオー食品「スペシャルカレーフレイク」発売
- 昭和55年 エスビー食品「フォン・ド・ボー・ディナーカレー」発売
「ディナーカレーフレイク」を業務用でも発売
- 昭和58年 ハウス食品 高級カレー「ザ・カレー」
エスビー食品 日本初の幼児向けカレー「カレーの王子さま」が発売
ハウス食品「カレーマルシェ」発売 欧風高級レトルトカレー
- 昭和59年 交易食品 業務用「デラックスキングカレールウ」発売**
- エバラ食品工業 業務用「マドラスカレー 湿潤」発売
- 昭和60年 ハウス食品「カレーの王子さま」レトルトでも発売
ターゲットを絞り込んだカレーが出始める
- 昭和61年 交易食品 業務用「コータスカレールウ」発売**

コータスカレールウ 開発秘話

KOEKI PRODUCT HISTORY

開発当時、「デラックスキングカレールウ」が当社カレールウの中で最上級品でしたが、さらにその上をいく他にはない高級カレールウを発売しようということになり開発に着手。

よりおいしいカレールウを考えたとき、ルウの製造工程で同時にペーストにした玉ねぎを炒め作り上げれば、必ずおいしいルウになると確信しました。

さらに、通常のカレー粉だけでなく、荒挽きスパイスもブレンドし、まさに「スパイスカレー」の元祖ともいえる一度食べたなら忘れられなくなる独特なスパイス感を作り出すことに成功しました。

“コータス”とは?…フランス語で貴婦人という意味の“comtesse”が由来



エスビーから「ムツゴロウの味覚王国」シリーズいくつかのスパイスをセット、本格的なインドカレーの調理を手軽に楽しめる

グリコから激辛志向のレトルトカレー「LEE」発売

昭和62年 ハウス食品「カレー・ザ・ホット」赤カレー(辛さ8) 黒カレー(辛さ10)発売

平成 元年
平成 5年

平成 6年
平成 7年
平成 8年

テーオー食品 業務用「ハイグレード21カレールウ」発売
エスビー食品 低価格帯の「なっとくのカレー」発売
大塚食品「あ！あれ食べよ」発売 カレーとご飯をワンプレートにして
電子レンジで温めて調理
明治「銀座カレー」発売 昔懐かしいレトロ感覚カレー
江崎グリコ「熟カレー」発売 一晩ねかせたカレーをモデルにした新発想のカレー
交易食品 業務用「横濱レトロカレー」発売

横濱レトロカレー 開発秘話

KOEKI PRODUCT HISTORY

製品開発のヒントに横浜初のカレーについて調査した際、カエル肉や栗、長ネギを使用した明治時代のレシピを見つけ再現しました。

“もっと地元横浜らしいカレーは作れないか”とアイデアを探していたとき、関内にある老舗レストランで「ハヤシライス」を食べヒントを得て、ハヤシライスのようなトマトたっぷりルウに、カレー粉やハーブを加え、お子さまからご年配の方まで食べやすい味わいを目指しました。

そして懐かしさ漂う、いにしへの港・横浜を彷彿させる「横濱レトロカレー」という名前をいただきました。



平成 10年

ハウス食品 女性をターゲットにした「完熟トマトとなすのカレー」を発売
交易食品 業務用「キッズカレールウ甘口」発売

キッズカレールウ甘口 開発秘話

KOEKI PRODUCT HISTORY

小学校に上がる前の子どもたちがよろこんで食べる、やさしい味つけのカレールウを発売したいという営業マンの願いから、開発されました。

子どもたちが大好きなりんご、はちみつ、ココアを加えて、天然のうま味をもつ酵母エキス、辛味の全くないカレー粉を組み合わせ作り上げたカレールウです。



平成 13年

ハウス食品 外食向けの業務用「欧風カレーフレーク」発売
交易食品 業務用「キッズカレールウ中辛」発売

キッズカレールウ中辛 開発秘話

KOEKI PRODUCT HISTORY

2001年(平成13年)9月、千葉県で狂牛病(BSE)の疑いがある牛が発見されると農林水産省が発表。この出来事を皮切りに日本国内において狂牛病問題が取り沙汰され、牛肉を使用した食品に大きな影響を与えました。

その中で、キッズカレールウは原材料に牛脂などの畜肉由来原料を使用していなかったため、狂牛病問題の影響で販売数が大幅に増加、急遽中辛タイプの発売が決定しました。



エスビー食品 コク旨路線の「とろけるカレー」発売
ハウス食品 コク旨路線の「こくまるカレー」発売
新宿中村屋「新宿中村屋インドカレー」有名店からもレトルトカレーが販売され始める
大塚食品 袋のままレンジでチンできる「楽チン厨房」発売

平成15年

大塚食品「ボンカレー」が箱ごとレンジでチンに進化
エスビー食品 付加価値のあるカレー「あぶり焼きカレー」発売
永谷園「アンパンマンカレー」「A-Label」発売 アレルゲンフリー対応
平和食品工業 業務用「平和のうま咖喱」発売
江崎グリコ 別々に煮込んだ「コクのルウ」と「香りのルウ」を重ね合わせた
「2段熟カレー」が発売され大ヒット

平成17年

平成18年

平成19年

交易食品 業務用「やさいかれー（中辛トマト・甘口カボチャ）を発売
業務用では、他社から先行してアレルゲンフリー製品を発売

やさいかれー 開発秘話

KOEKI PRODUCT HISTORY

他製品で利用していたトマトパウダーやパンプキンパウダーを有効活用するため、野菜の旨みを活かしたカレールウの開発に着手。開発当時、狂牛病等の影響により畜肉由来原料の品質が不安定であったことから、畜肉由来原料を除き開発を進めました。

さらに、狂牛病と関連し食の安心・安全にも注目が浴びたことから、無添加仕様での開発を進める中で、学校給食においてアレルゲン対応のニーズが少しずつ増えはじめていたことから、小麦粉ではなく米粉を使用しアレルゲンフリースペックとなりました。

発売当初は、学校給食向けのやさしい味わいの「甘口カボチャ」と、チリコンカン風でトマトが利いた味わいの「中辛トマト」の2種類が販売されました(現在は終売)。



平成20年

平成21年

江崎グリコ「ちょい食べカレー」温めずにそのまま食べるスティックパウチのカレー
交易食品 業務用「黒欧カレールウ」発売

ハウス食品 朝カレーブームを受け「めざめるカラダ朝カレー」を発売

平成22年

テーオー食品 業務用「香辛館カレーフレーク」発売

平成23年

ハウス食品 温めずにそのまま、かけるだけのレトルト「夏カレー」を発売

平成24年

江崎グリコ 3年間保存可能な「温めずに美味しく食べられるカレー職人常備用」を発売

江崎グリコ お湯をかけて30秒で食べられる「カレーポットビーフカレー」を発売

平成25年

交易食品 業務用「やさいかれー」をリニューアル

やさいかれー 大リニューアル

KOEKI PRODUCT HISTORY

これまで2種類販売していたやさいかれーを一旦終売し更なる美味しさを追求。甘口カボチャと中辛トマトを一本化し、それぞれの良さを活かした新生やさいかれーを発売したところ、味の面で栄養士を中心に高く評価頂くようになりました。

アレルゲン対応品の需要の増加とともに、交易食品の学校給食向け製品を代表する製品へと成長。

現在では学校給食の他、自然派レストランやカレーパンのフィリングでの採用など、用途の幅が広がっています。



平成26年

平成27年

大塚食品 箱ごとレンジ調理に進化した「ボンカレーゴールド」発売

テーオー食品 業務用「エブリィカレールウ」発売

エスビー食品 業務用「アレルゲンフリー カレーフレークN」発売

アレルゲンフリー製品へ進出

ハウス食品 アレルゲン対応品 業務用「みんなの給食 コク旨みまるやかカレー」発売

江崎グリコ「プレミアム熟カレー」発売

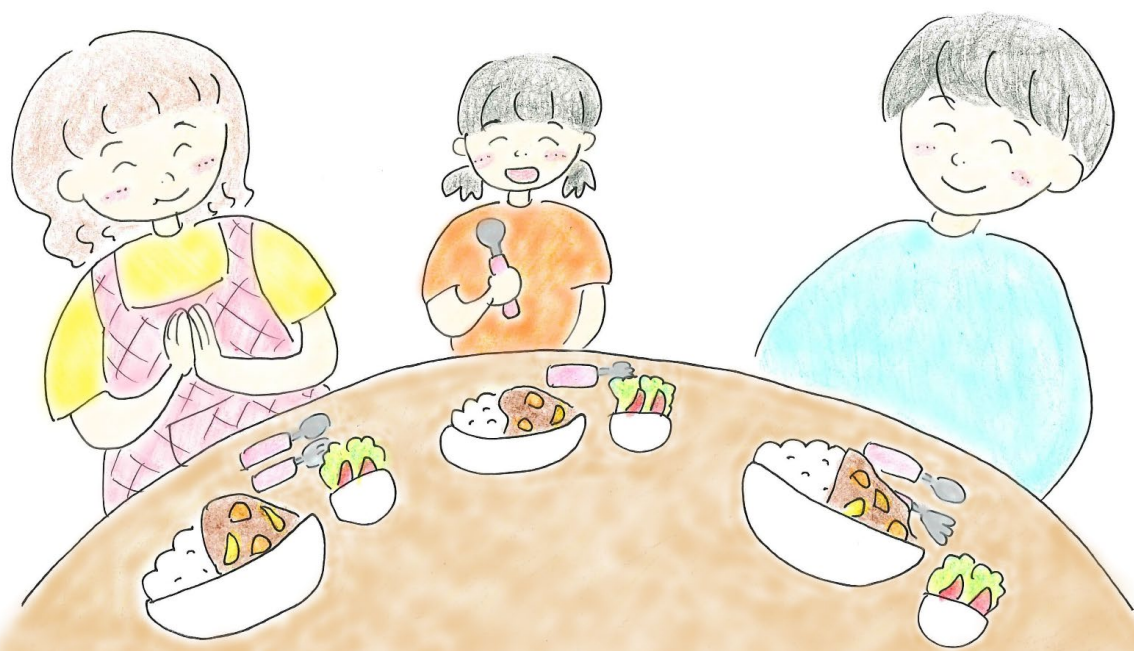
平成28年
平成29年
令和元年
令和2年
令和3年

交易食品 業務用「プレミアムコータス カレールウ」発売

ハウス食品「カレーの王子さま」を特定原材料等27品目不使用にリニューアル
エスビー食品「チーズ好きの熟成欧風カレー」

交易食品 業務用「やさいかれー」を28品目アレルギーフリーに表記変更

エスビー食品「本挽きカレー」発売 小麦粉不使用のパウダータイプのカレー
平和食品工業「VGスパイシーカレー」「VGスパイシーキーマカレー」
動物由来原材料不使用でベジタリアン・ヴィーガン向けのレトルトカレーを発売



このページは、一般情報として細心の注意を払って掲載させて頂いておりますが、史事をすべて網羅してはおりませんので、何か不行き届きな点がありましたら、この場を借りてお詫び申し上げます。

又、記載内容に不都合な点・誤りがございましたら、記載内容の変更、削除をさせていただきます。お手数ですが、info@koeki.co.jp までご連絡下さいますよう、お願い申し上げます。

お願い